

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38440
事業名	区健康寿命延伸推進費					
評価担当課	所属名	保)保健所 健康企画課				
	課長名	關 靖子	担当者名	布施 絢乃	電話番号	011-622-5151
施策名	主	地域で共生する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	区民の自主的な健康づくり・介護予防活動の推進に向け、意識の醸成及び活動に取り組みやすい環境を整備する。			
		長期	健康寿命の延伸			
	取組内容	市民一人ひとりが生涯にわたり、主体的に健康づくり、介護予防に取り組むことをめざし、まちづくり活動、スポーツ振興等と連動しながら、運動習慣の定着化や食育を推進するツールの作成や普及啓発イベントの開催、健康測定やウォーキングに取り組みやすい拠点づくりなど、各区の課題に応じた健康寿命の延伸に資する独自の取組を実践し、区民の自主的な健康づくり、介護予防を推進する。				
	実施結果	10区12事業が計画されているが新型コロナウイルス感染症の流行や地域の感染不安などの状況から体験型イベントは中止となった事業もあった。啓発品の作成や動画配信など趣向を凝らした方法を取り入れたり、個々の活動を支援するような取組が多くみられ、令和3年度は13921人に健康づくりの普及啓発をおこなった。				
事業実施における工夫点	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染症予防を徹底した上で実施。また、通常参集で実施するイベントを中止し、オンラインの活用や個人で取り組める内容等に変更した。					
対象者	区民	開始	令和2 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	17,658	18,000	10,731	19,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	26.2	26.2	26.2	26.2	
人件費	188,640	188,640	188,640	188,640	
計(事業費+人件費)	206,298	206,640	199,371	207,640	
事業費の内訳	令和3年度決算	報償費294千円、需用費4715千円、役務費(郵送費等)166千円、委託料他(業務運営委託)5409千円、使用料及び賃貸料22千円、備品購入費95千円、負担金30千円			
	令和4年度予算	報償費1263千円、需用費7224千円、役務費(郵送費等)520千円、委託料他(業務運営委託)8950千円、使用料及び賃貸料1043千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	各区事業参加者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	11023	5,000	13921	10000	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	コロナ渦においても、事業内容を工夫して健康づくりの普及を行い、昨年度実績・R3年度予定を共に大きく上回り、活動指標の目標を達成した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とし、動画配信やパネル展、健康づくりに関する啓発品の作成・配布といった普及効果が高い取組もみられた。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	コロナ渦においても、非対面や2部制などの少人数制といった密を避ける工夫を取り入れた結果、昨年度よりも多くの対象者に事業を実施することができた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	事業参加者に行ったアンケート結果では、「参加してよかった」「行動変容のきっかけになった」等の回答が平均して8割以上あり、健康な習慣づくりの機会となったといえる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症流行の状況を見極め、徐々に集合形式や外出自粛により低下した身体機能へのアプローチを取り入れるなど事業の実施手法の検討を行う。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	コロナ渦でも実施可能な取り組みについて、手法を工夫して事業を実施した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	コロナ渦でも工夫して事業を実施することで、より多くの市民へ健康づくりの普及啓発を行い、対象者のニーズにも沿った内容となったと判断できる。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 コロナ渦で経験した手法のうち効果的なものは継続して取組みながら、必要な感染対策をとり、市民ニーズの高い従来の集合形式による体験型事業開催についても検討していく。			
	予算	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ その他		事業内容の検証を踏まえ、適切な予算措置を行う。	見直し効果額